

## 卒業生 INTERVIEW

株式会社ボラリス 代表取締役  
医療法人社団オーロラ会 理事長

**森 剛士** さん (兵庫医科大学 1996年卒)

TSUYOSHI MORI

## PROFILE

大阪大学医学部附属病院、有馬温泉病院を経て、2002年に株式会社ボラリスを設立。大学時代はテニスに熱中し弱小チームを常勝軍団へ導く。ただ、自身の卒業後は再度弱体化してしまった反省から、エース頼りではなく、強い組織が自立・継続する仕組みづくりの重要性に気付く。

## やりたいことを やれる自由をもう一度

### 祖母を引き取るために

#### 外科医から転職

心臓外科医から介護業界へ。転職の一つは、祖母が脳梗塞を起こし植物人間になったことだった。「慢性期になると、退院しなくてはいけない」。医療制度の都合上、3ヵ月・半年など一定期間を超えると、医療費（病院の収入）はぐんと下がる。つまり、長期入院は経営を圧迫するため、病院側は退院を促す。そこで、当時大阪大学医学部附属病院に勤務していた森氏は、某院から退院を余儀なくされた祖母を引き取るかたちで、リハビリ専門の有馬温泉病院へ転職した。

### 「お世話型」ではなく

#### 「自立支援型」介護

祖母が亡くなった際には、外科医に戻るかこのままりハビリ医を続けるかに悩んだというが、そこで森氏は第3の決断を下す。自身のクリニックの開業だ。利益率が低い慢性期リハビリから、多くの病院が撤退していくなか、「誰もやらないならうちがやろう」と思っただけの決断だった。ただ、それだけではやはり経営が成り立たない。そこで、当時介護保険制度が開始されたこともあり、リハビリを取り入れた介護デイサービス事業を全国でいち早く始めた。「私の祖母のように、慢性期に入り入院が長期化すると、退院を迫られる。病院でリハビリをすればよくなるかもしれないのに、それを受けられずに自宅療養になる。すると筋肉は

衰え、寝たきりの状態に陥ってしまう。そうなる手前の段階で食い止めた」。そこで森氏は、被介護者の手足の代わりとなるような従来の「お世話型」介護ではなく、歩行や食事などを自力で行えるよう訓練する「自立支援型」介護に取り組んだ。

### 課題最先進国として

しかし、なんでもしてくれる「お世話型」介護に慣れきっている人々からは、「サービスがよくない」と、誤解を招く懸念はないのだろうか。そう問うと森氏はこう答える。「まず我々が行うべきことは、“もしかしたらよくなるかも”という変化のきっかけを与えること。例えば、高齢者の方は慢性的な脱水状態にあるので、それを改善するだけでも体調は良くなる。その後に、自らの足であの場所へ行きたいなど、適切な目標と一緒に設定してあげること。自分でできることを増やすことが、その人にとって1番幸せ」。つまり、サービス重視で「お世話型」的になんでもやってあげることが、実は本人のためにならないということ。それを認知し理解してもらうことが課題とも森氏は話したが、近年では安倍首相が「自立支援型」介護の重要性を宣言するなど、少しずつ希望の輪は広がってきている。最近では、パナソニックと協業し、「自立支援型」介護へのAI（人工知能）導入を進めている。これにより、抽象的なケアプランではなく、個々人の容体に最適化した詳細なTo doプランを提供できるようになるという。高齢率世界1位の日本だが、裏返せば課題先進国として、世界規模で進む高齢化問題のエキスパートになれるということ。その中心に「自立支援型」介護がある。



## MY HISTORY

### 私と医科大

「学生時代は教員の話す内容を理解しようと必死でしたが、今では様々な場所で講演をさせていただける立場になりました。学生時代に経験したクラブ活動が「チームで組織を作り上げる」という今の仕事に大きく役立っています。当社が運営する学会も、チームで作っているものの1つ。医科大学の学生たちにもぜひお越しいただき、「自立支援介護」を知っていただければ嬉しいです」



学会の会場となった  
兵庫医科大学で講演

### 加齢による疾病を予防する新薬開発への期待

一般的に60歳以上になるとがんや自己免疫疾患、重症感染症などのいわゆる生活習慣病の発症が増え、それが死の原因になるケースが多い。西浦助教が注目するのは「加齢に伴う個別の体質」だ。「もともと人体には100歳まで生きられるようなシステムが備わっているが、これが加齢に伴い変化すると100歳に到達することが難しくなる」という。この加齢に伴い変化する人体の調節機構を改善させる新薬の開発が、2018年8月にAMEDに採択されたばかりの研究だ。現在、対象物質の絞り込みを行っており、10年後には実用化が期待されている。

西浦助教が進める、人間の寿命までも左右する新薬の開発は自己免疫疾患の一つ、関節リウマチの研究からスタートした。約20年前になるが、新しいアポトーシス機構を発見した。自己の細胞群にはそれぞれに寿命があり、機能が低下した細胞からアポトーシス機構でマクロファージに食処理される。宿主の生理学的恒常性は、新しい細胞の入れ替えて維持される。しかし、当時は自己免疫疾患とアポトーシス機構との関連は誰も解明していなかった。現在では、詳細な機構は不明であるが、アポトーシス機構の働きを悪くしたマウスを作ると、自己免疫疾患が主な症状として現れることは知られている。西浦助教が発見したアポトーシス機構は、他に類を見ない研究へと大きく広がった。

### 研究の進展の鍵となったS19多量体の発見

西浦助教が明らかにしたのは、アポトーシス機構の3つの機序をコントロールするリボソームタンパク質S19 (RP S19) 多量体というタンパク質の存在だ。アポトーシス細胞が産生・放出するRP S19多量体は、C5a受容体を介してアポトーシス細胞には細胞死を、マクロファージには食能を、両方の細胞には接着能を促進し、リンパ球によるアポトーシス細胞の自己抗原の誤認識を防ぐ役割を持つことを解明した。「3つの段階をすべて一つの分子と受容体で行うアポトーシスのシステムを発見したのは、世界で初めて。この分子の発見は大きなことだった」と振り返る。

2012年、このRP S19多量体の遺伝子をノックアウトしたマウスを作製。関節リウマチ様の病態を予想していたところ、いくつもの症状が複合して現れる生活習慣病の類似病態が現れたという。このモデルマウスの意義について西浦助教は、「これまでアポトーシス機構を壊して作ったマウスでは、一つの病態だけを発症するものしかなかった。複数の病態を発症するものは珍しく、従来の発症の仕組みとは異なる機構が考えられる」と指摘。現在、細かな検証を続けており、今後モデルマウスの特許取得、新たな病態発症の機構の証明につなげていくという。

### 理想を実現させる信念と行動力

「20年をかけ、生活習慣病の病態の進行を遅らせ、止めるための新薬開発のプロジェクトにたどりついた。さらに頑張り、薬として世の中に出したい」と力を込める西浦助教。信念の基となっているのが、口腔外科医としての臨床経験だ。「口腔がんの病態が進み、手術をしてもどうしても助けることが難しいケースをいくつも体験してきた」と当時を振り返る。この体験が「口腔がん病態の進行を抑えることができれば」という強い思いにつながり、研究の現場に進むことを後押ししたという。

現在、生活習慣病の治療薬や、AMEDに採択された加齢に伴う個別の体質を改善する新薬の開発など、実用化が待ち望まれる研究がいくつも並行して進行する。自身の発見を出発点に研究を絶え間なく継続できているのは、実験と論文作成にかけた膨大な時間があるからだ。また、研究を続けるための「なくてはならない環境」を兵庫医科大学で築けたことも大きな財産になっている。西浦助教の研究には、同じ兵庫医科大学の動物実験、遺伝学など各分野の専門家をはじめ、全国各地で生活習慣病を重点的に取り扱う病院や研究機関が関わる。「自分でやりたいことがあれば自分で道を切り開いていかないとけない。だから努力して成果を出し、それを積極的にプレゼンテーションしてきた。結果を出す時には信頼できる仲間が必要だ」と語る。築いてきた研究体制の充実と研究成果の蓄積が、大きな理想へ近づく原動力になっている。

### URAからひとこと

自己免疫疾患の多くは依然として発症機構が不明であり、新たな治療法の開発が求められています。西浦先生は、「老化と免疫」という独自の新しい視点から、老化に伴い発症する自己免疫疾患病態を発症するモデル動物構築を成功させ、新規治療標的を見出しました。今後、これらの研究成果が自己免疫疾患の診断や治療に繋がることが期待されます。

【太田 英樹URAより】

URA (University Research Administrator) とは、研究者とともに研究活動の企画やマネジメント等を担い、研究活動の活性化に寄与する職種です。現在、本法人には2名のURAが在籍しています。



病理学講座では、所属する研究者がさまざまなテーマで研究を進めている。内容は治療法の開発から発症機構の解明、病態解析など幅広い。基礎的研究と臨床病理学的研究を融合させた新たな研究の創出をめざしている。



## HYO-i LAB

### 研究紹介

# 理想を形にする一からの積み重ね 自己免疫疾患研究を健康寿命の増進へ

兵庫医科大学 病理学講座 病理診断部門 助教 西浦 弘志

「誰もが100歳まで自立して暮らせ寿命を迎えられるような薬を開発したい。」

壮大な目標に挑むのは、病理学講座病理診断部門の西浦弘志助教だ。

20年をかけて一から証明を積み重ね、

2018年8月には画期的な新薬の創出を支援する

AMED (国立研究開発法人日本医療研究開発機構) の支援事業にも採択された。



## 兵庫医科大学 2018年度科学研究費助成事業交付内定一覧

2018年度科学研究費助成事業130件 総額2億4,864万円が交付されました。なお、昨年度の採択件数は148件、総額は2億7,431万円でした。

(注)2018年度公募分より若手研究(A)は新規応募廃止、若手研究(B)は「若手研究」となりました。

研究種目	新規採択	継続	交付件数
基礎研究 (A)	0	0	0
基礎研究 (B)	4	8	12
基礎研究 (C)	29	53	82
挑戦的研究 (開拓)	0	0	0
挑戦的研究 (萌芽)	3	3	6
挑戦的萌芽研究	—	2	2
研究活動スタート支援	0	0	0
新学術領域研究	0	0	0
国際共同研究強化 (B)	1	—	1
若手研究	12	—	12
若手研究 (A)	—	2	2
若手研究 (B)	—	10	10
奨励研究	3	—	3
合計	52	78	130

## 2018年度厚生労働科学研究費補助金交付内定一覧

(単位:円)

研究事業名	研究課題名	研究代表者	交付総額
臨床研究等ICT基盤構築	安全な薬物治療をリアルタイムで支援する臨床決断支援システムの開発に関する研究	臨床疫学 臨床教授 森本 剛	15,000,000
難治性疾患等政策	指定難病に該当する胎児・新生児骨系統疾患の現状調査と診療ガイドラインの改定に関する研究	臨床遺伝部 臨床教授 澤井 英明	14,950,000
計(2件)			29,950,000

## 2018年度日本医療研究開発機構委託研究開発費交付内定一覧

(単位:円)

研究事業名	研究課題名	研究代表者	交付総額
再生医療実現拠点ネットワークプログラム幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム	ヒト脳傷害誘導性神経幹細胞を用いた神経再生療法	脳神経外科学 助教 高木 俊範	13,000,000
橋渡し研究戦略的推進プログラム	羊膜由来間葉系幹細胞の再生医療製品化と急性GVHDに対する治療応用	先端医学研究所 医薬開発研究部門 准教授 山原 研一	80,320,000
創薬支援推進事業創薬総合支援事業	自己免疫制御を機序とする新規シェーグレン症候群治療薬の探索	病理学 病理診断部門 助教 西浦 弘志	7,499,800
計(3件)			100,819,800

## 2018年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業一覧

(単位:円)

研究課題(プロジェクト)名	研究代表者	補助対象事業費総額	補助交付(予定)額	研究期間
難治性疼痛・感覚異常に対する創薬基礎研究	解剖学 神経科学部門学長/教授 野口 光一	26,500,000	12,000,000	2014年度～2018年度
外科手術後癒着形成:分子機構の解明と診断・治療技術の開発	外科学 肝・胆・膵外科 教授 藤元 治朗	30,000,000	15,000,000	2014年度～2018年度
血管内治療と細胞治療による脳卒中急性期治療の研究拠点形成	脳神経外科学 教授 吉村 紳一	24,000,000	12,000,000	2015年度～2019年度
計(3件)		80,500,000	39,000,000	

※私立大学等経常費補助金特別補助

## 兵庫医療大学 2018年度科学研究費助成事業交付内定一覧

2018年度科学研究費助成事業42件 総額4,953万円が交付されました。なお、昨年度の採択件数は40件、総額は4,956万円でした。

(注)2018年度公募分より若手研究(A)は新規応募廃止、若手研究(B)は「若手研究」となりました。

研究種目	新規採択	継続	交付件数
基礎研究 (B)	1	0	1
基礎研究 (C)	9	18	27
挑戦的萌芽研究	0	1	1
研究活動スタート支援	0	2	2
若手研究	2	9	11
合計	12	30	42

## 2018年度日本医療研究開発機構委託費交付内定一覧

(単位:円)

事業名	研究課題名	研究代表者	交付額
創薬支援推進事業創薬総合支援事業	新規抗マラリア薬の探索	薬学部 教授 田中 明人	3,737,256
革新的がん医療実用化研究事業	がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	看護学部 准教授 田中 登美	760,000
計(2件)			4,497,256

## 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)喫煙科学研究財団	喫煙の頸動脈プラーク内新生血管増殖及びプラーク性状に対する影響【2年目継続交付】	山田 清文 講師 (兵庫医科大学 脳神経外科学)	500,000

## チームの力

法人内のチームの動きをご紹介します

～あらゆる専門領域から考える～

## 骨粗しょう症・サルコペニア・フレイル カンファレンス

各診療科において専門的治療を進めていく中で、患者さんのADL(日常生活動作)低下の原因につながると懸念される「骨粗しょう症」「サルコペニア」「フレイル」。2018年9月3日、これら3つ疾病について、複数の診療科が一同に会するカンファレンスが院内で初めて開かれました。それが「骨粗しょう症・サルコペニア・フレイル カンファレンス」です。

治療の中で、各診療科が抱える問題や最適な治療方法などを専門領域の観点からそれぞれ意見を出し合い、より専門的な知識を深め、各診療科と連携強化を図ることがこのカンファレンスの目的。初めて実施したカンファレンスでは、10診療科67名が参加し、それぞれの症例や研究内容などを共有しています。

兵庫医科大学病院では、本カンファレンスをとらして、各診療科が迅速に連携することで、「骨粗しょう症」「サルコペニア」「フレイル」を未然に防ぎ、患者さんの予後の向上に努めていきます。

※【参加診療科】

総合内科、整形外科、歯科口腔外科、腎・透析内科、リハビリテーション科、リウマチ・膠原病内科、血液内科、肝・胆・膵内科、放射線科、産科婦人科

※【その他参加部署】

放射線技術部、臨床栄養部、リハビリテーション部、兵庫医療大学 リハビリテーション学部



## 授業 CLOSE UP

兵庫医科大学

地域医療の重要性を理解!  
医学部  
「地域医療特別演習」

将来、「地域医療に貢献しよう」という強い意志を持って入学してきた学生が、地域で活躍できる専門医・指導医となることをめざした特別カリキュラム。低学年のうちから、地域医療機関を訪問して実際の地域医療を肌で感じます。

患者さんと接するプログラムを低学年から体系的に設けていますが、地域枠推薦入学者への教育では特に強化しています。地域医療が多くの人々の支えで成り立っていることを理解してくれることを期待しています。

医学部 副学長 鈴木 敬一郎

point 地域医療の未来を担う

「地域医療特別演習」は地域枠推薦入学制度によって入学した学生を対象とした実習です。卒前・卒後において連携して未来の地域医療の指導医を育てることを目標としています。具体的には地域の第一線病院で「地域医療」の現場を見学し、実際に活躍されている医師から直接、地域医療の意義や課題、家庭医療の実際などを学ぶことで、自らの将来像を重ね合わせます。



医学部 1年次生  
水田 翔一郎さん

学生の声

在宅医療や診療の現場を訪れ、講義だけでは知ることができないことを患者さんの協力のもと学ぶことができ刺激になりました。また、薬局と病院との連携の方法に工夫があり、とても興味深かったです。



兵庫医科大学

臨床現場を想定して実践的な技術を習得  
看護学部 看護学科  
「助産診断技術学Ⅱ」

助産診断技術学Ⅱは、助産師資格取得をめざす学生が4年次に履修する科目で、妊娠、出産、育児について学習します。学生は産婦が安全で素敵なお産を経験し、安心して育児を始めるための支援を目標に、知識と技術を修得します。

多様な出産の経過や産婦の考えに対応できる能力をめざし、助産学の基本的な知識・技術の学習と実践、産婦の立場で考える視点が持てる授業を心掛けています。

看護学部 看護学科 准教授  
岡田 公江

point 1 学生による学生のための授業

学生は自分で作製した実物大の胎児の頭と、骨盤模型を用いて分娩期の胎児の産道通過のメカニズムについて授業を行います。学生が授業をすることで自己の知識の整理と更なる学習課題が明確になり、産婦が安全で少しでも楽に過ごすための具体的な支援に気がつき、学習が深まります。



学生の声

実際の物品を使用し事例を展開するためより実践的な技術を習得することができました。また自分たちで事例を作ることで考え行動する力が身につきました。

看護学部 4年次生  
大西 莉乃さん

point 2 臨地の状況を設定した演習

学生は、臨地の状況を設定した学内演習で、助産卒業生が扮する模擬母親に対し育児技術を説明しています。実践に即した演習により、基礎的学習だけでなく、個々の母親の育児技術レベルや育児に対する不安、考え方に触れることができ、個別的な支援の方法や支援内容を見出す学習につながります。



暖かい雰囲気先生方と共に、日々技術や勉強に励んでいます。少数だからこそ先生方に手厚く指導して頂くことができ、安心して学習ができています。

看護学部 4年次生  
大場 璃子さん

## 課外活動 REPORT

兵庫医科大学

各種目で力を発揮!

西日本医科学生  
総合体育大会等結果報告

「2018年度 第70回西日本医科学生総合体育大会」が主管校である三重大で開催されました。今回は、学生たちが青春の汗を流した大会において好成績を取った結果を報告します。

ヨット部・柔道部・合気道部などで好成績

今年で70回目を迎えた西日本医科学生総合体育大会(代表主管校:三重大)が8月5日から8月20日にかけて開催され、参加44校、20競技で熱戦が繰り広げられました。兵庫医科大学はヨット部・柔道部・合気道部などの多く部活で好成績を取りました。



柔道部



ヨット部

参加学生のコメント

医学部 6年次生 熊本 友子さん

最後の夏、ずっと目標にしていたゴルフ(6位)&柔道(優勝)で西医体W入賞を果たすことができました。柔道では他大学の学生からも応援してもらい、ゴルフでは1位2位が淡々と表彰されている中、6位の私連だけが号泣するという異常現象が発生。それもまたいとをかし。一緒に頑張ってくれた部員、先生方、素敵な思い出をありがとうございます。

ヨット部 主将

今回、ヨット部門470級において優勝することができました。昨年に総合優勝したということもあり、プレッシャーもありましたが、初日から他校をリードしながら、レースを行うことができ、最高の成績を取ることができました。応援していただいた方々、本当にありがとうございました。

「2018年度 第70回 西日本医科学生総合体育大会」主な結果

クラブ名	種目・部門	順位	学生
柔道部	女子個人戦	優勝	(6年)熊本 友子
	男子団体戦	ベスト16	
合気道部	個人・段外の部	最優秀賞	(4年)中野 きらり (2年)池澤 帆南
ヨット部	本レース470級	1位	(3年)平野 裕樹 (2年)藤井 紫乃
	トライアルレース470級	3位	(3年)平野 裕樹 (2年)藤井 紫乃
	本レーススナイプ級	17位	(3年)谷岡 由朗 (3年)有川 裕貴
	トライアルレーススナイプ級	10位	(3年)谷岡 由朗 (3年)有川 裕貴
軟式テニス部	男子個人戦	ベスト32	(4年)桑原 啓太 (4年)村上 雅博
	女子団体戦	ベスト8	
サッカー部	男子団体戦	ベスト32	
準硬式野球部	男子団体戦	ベスト8	
ラグビー部	男子団体戦	ベスト32	
バスケットボール部	男子団体戦	ベスト8	
バレーボール部	男子団体戦	ベスト16	

クラブ名	種目・部門	順位	学生
卓球部	男子個人戦シングルス	ベスト32	(3年)関 直史
	男子個人戦シングルス	ベスト64	(2年)長濱 実輝
バドミントン部	女子個人戦シングルス	ベスト16	(5年)村上 綾香
	女子個人戦ダブルス	ベスト16	(5年)酒巻 華子 (5年)今榮 なぎさ
	男子団体戦	6位	
	男子個人戦ダブルス	準優勝	(6年)岩谷 太史 (6年)西村 裕貴
陸上競技部	男子円盤投げ	6位	(5年)清水 健太郎
	女子400m	3位	(5年)新宅 由佳
	女子800m	3位	(5年)新宅 由佳
水泳部	男子50m自由形	7位	(5年)濱田 芳輔
	男子100m自由形	9位	(5年)濱田 芳輔
剣道部	女子団体戦	決勝リーグ進出	
	女子個人戦	2回戦進出	(3年)松村 桃子
	女子個人戦	ベスト32	(3年)寺嶋 真由
ゴルフ部	男子団体戦	18位	
	女子団体戦	6位	

「2018年度 第52回 全日本医科学生体育大会王座決定戦」主な結果

クラブ名	種目・部門	順位	学生
バスケットボール部	男子団体戦	準優勝	

# 課外活動 REPORT

兵庫医療  
大学

受験生をおもてなし!

## オープンキャンパスで活躍する学生スタッフ

今年度より、オープンキャンパスに参加する広報学生スタッフを事前に募り、事前研修を実施。学生の意見をオープンキャンパスの企画に生かせるような取り組みを開始しました。

### 学生スタッフ事前研修

オープンキャンパスに参加する学生スタッフは事前研修に参加し、接客マナーなどを学びました。研修の中ではグループワークを行い、「高校生の頃オープンキャンパスに参加してみて良かったことベスト3」「兵庫医療大学のいいところベスト3」などの課題について意見を出し合い、グループごとに発表を行いました。



接客研修



グループワーク

### オープンキャンパス当日の学生スタッフ!

オープンキャンパス当日は、オクタホールでの学生スタッフ企画のパネルトークや、来場者へのドリンク配布、案内誘導、アンケート回収などを担当。来場者に笑顔で話しかけながら、さまざまなサポートをしました。学部学生スタッフは、学部の企画運営や、体験実習サポート、個別相談コーナーなどを担当。来場者に大学での学びを体験してもらいました。



学生スタッフ企画



ドリンク配布



学部体験



岡山・香川バスお見送り



オープンキャンパス学生スタッフ

## オープンキャンパス学生スタッフの感想

### スタッフをしてみたの感想

- 高校生との交流をととして色々な話がありました。また、来場者がとても楽しそうに学内を回っていて嬉しかったです。
- すれ違った時などには、高校生などの来場者はもちろん、学生スタッフ同士でも笑顔であいさつができました。
- 担当業務以外にも積極的に手伝いに行ったり、片づけや休憩を取るときなどに声掛けができたり、周囲を見て行動することができました。
- 初めての学生企画「トークライブ」も無事に終わることができて本当に良かったです。
- 最終日には初日より色々なことが出来るようになって自信ができました!

### 自分以外のスタッフで良かったところ

- 笑顔が素敵で積極的に声かけをしていた。
- 自分の仕事ではないところも手伝っていた。
- 高校生に明るく気さくに接していた。
- 困っている来場者に対して、素早い対応をしていた。
- 周りへの気配りが良かった。
- 陰で力仕事を頑張っていた。

人事情報 主任教授・役職者の就任挨拶、および教授就任者の略歴をご紹介します。



兵庫医科大学  
外科学 心臓血管外科  
坂口 太一 主任教授  
(2018年10月1日就任)

私は1992年に大阪大学を卒業し、外科研修を経て心臓血管外科にて学位を取得しました。その後米国コロロンビア大学に留学し、心臓移植、補助人工心臓、低侵襲手術などの成人心臓手術の修練を積みました。帰国後は大阪大学および心臓病センター榊原病院(岡山)で成人心臓外科の臨床を行ってきました。本学では低侵襲手術や重症心不全治療を充実させ、診療・研究・教育にバランスのとれた、魅力ある教室運営を行っていききたいと思います。



兵庫医療大学  
薬学部  
甲谷 繁 教授  
(2018年8月1日就任)

2018年8月1日付にて、薬学部医療薬学科物理化学分野の教授を拝命いたしました。開学当初(平成19年4月)より本学の教職員として、物理系薬学の教育と物理化学分野(触媒化学)の研究に従事して参りました。今後も、基礎科学の素養をきちんと身に付けた薬剤師を育成すると同時に、専門である触媒化学の研究を通して地域や医療の発展のために貢献して参る所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



兵庫医科大学  
地域総合医療学  
田中 宏幸 教授  
(2018年10月1日就任)

1990年3月 兵庫医科大学 医学部医学科 卒業  
1990年6月 兵庫医科大学病院 産科婦人科 臨床研修医  
1995年3月 兵庫医科大学大学院 医学研究科 修了  
1996年7月 市立川西病院 産科婦人科 副医長  
2000年7月 兵庫医科大学 産科婦人科学講座 助手  
2007年1月 兵庫医科大学 産科婦人科学講座 講師  
2010年9月 アメリカ・ロマリダ大学 医学部産科生物学センターに留学  
2015年6月 兵庫医科大学 産科婦人科学講座 准教授

### 評議員の異動 次の通り評議員の異動がありました。

新任 (8月1日)	公益社団法人 兵庫県看護協会 会長	成田 康子	辞任 (7月31日)	公益社団法人 兵庫県看護協会 前会長	中野 則子
--------------	----------------------	-------	---------------	-----------------------	-------

## 表彰・受賞など

### ◆病理学分子病理部門 佐藤講師が日本学術振興会

#### 「平成29年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員表彰」を受賞

2018年7月31日、兵庫医科大学 病理学分子病理部門の佐藤 鮎子講師が「平成29年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員表彰」に選出されました。この表彰は、日本学術振興会の特別研究員事業及び国際交流事業の書面審査において有意義な審査意見を付した委員を表彰するものです。2017年度は約1,400名の書面審査を行った専門委員などのうち、表彰対象の任期2年目に当たる約600名の中から137名が表彰者として選考されました。

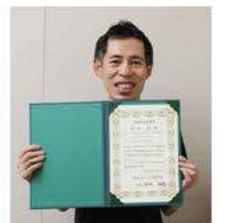


### ◆兵庫医療大学 薬学部の清水准教授が

#### 日本リメディアル教育学会「2018年度 大会発表優秀賞」を受賞

兵庫医療大学 薬学部の清水准教授が8月27日~8月29日にかけて東京で開催された日本リメディアル教育学会 第14回全国大会において、「2018年度 大会発表優秀賞」を受賞しました。今回、優れた研究内容かつ優れた発表を行ったことが評価され受賞に至りました。

【研究テーマ】「高校化学と薬学臨床をつなぐ薬学部初年次における有機化学導入教育の実践」  
【研究スタッフ】清水 忠(兵庫医療大学)、西村 奏咲(武庫川女子大学)、大原 隆司(兵庫医療大学)



### ◆泌尿器科の山本診療部長が

#### 「臓器移植対策推進功労者」として厚生労働大臣感謝状を授受

2018年10月7日、同志社大学にて開催された「第20回臓器移植推進国民大会」において、兵庫医科大学病院泌尿器科 山本新吾診療部長が「臓器移植対策推進功労者」として厚生労働大臣感謝状を授受しました。腎移植の発展を願い、臓器移植対策の推進に尽力したことが顕著な功績として評価され受賞となりました。



### ◆兵庫医科大学 名誉博士 称号授与

国際文化交流をとおし、兵庫医科大学の教育もしくは学術上の功績が特に顕著であった先生に対して、その功労を顕彰するため、名誉博士の称号を授与しました。今回の称号授与者は次のとおりです。

北京中医薬大学 徐 安龍 学長



◆主な行事予定(11月~1月)

11月		
3日・4日	兵庫医科大学	第47回 大学祭「醫聖祭」
11日	兵庫医科大学	推薦入学試験 実施
15日	学校法人兵庫医科大学	個人情報保護に関する講演会
	兵庫医療大学	ボーアイ4大学 × JAF共催 クリーン作戦
16日	兵庫医療大学	神戸市主催 市長と学長の懇談会
17日	兵庫医科大学	推薦入学試験 合格発表
	兵庫医科大学	兵庫医科大学後援会 秋季教員・保護者懇談会
	兵庫医療大学	推薦入学試験(専願公募制、公募制S日程)
24日	兵庫医療大学	推薦入学試験(公募制A日程)
27日	兵庫医科大学	平成30年度 利益相反セミナー
12月		
1日	兵庫医科大学	推薦入学試験合格者ガイダンス
	兵庫医科大学病院	阪神南園域リハビリテーション研修会
2日	兵庫医療大学	薬学部4年次生対象薬学共用試験(OSCE)
7日	兵庫医療大学	ボーアイ4大学連携 総合防災訓練
11日	兵庫医療大学	薬学部4年次生対象薬学共用試験(CBT)
15日	兵庫医療大学	推薦入学試験(公募制B日程)
	兵庫医科大学病院	クリスマスコンサート
16日	兵庫医療大学	入試対策講座
17日・21日	兵庫医療大学	薬学部4年次生対象就職・実務実習説明会
未定	兵庫医療大学	クリスマスイルミネーション点灯式
未定	ささやま医療センター	クリスマスコンサート
1月		
8日	兵庫医科大学	レクチャーシップ「知の創造」
19日・20日	兵庫医科大学	大学入試センター試験
26日	兵庫医科大学	大学院入学試験Ⅱ期
30日	兵庫医科大学	一般入学試験 第1次試験 実施

◆学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

みなさまからのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

2009年7月1日~2018年9月30日

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	356	75,805,000円	2,207	153,635,498円	2,563	229,440,498円
入金	356	75,805,000円	2,202	153,475,498円	2,558	229,280,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧(50音順)

2018年7月1日~2018年9月30日

企業等法人(6法人)

●ご芳名・金額記載(3法人)

株式会社エイチ・アイ 様	500,000円
有限会社エイチ・アイ・サービス 様	100,000円
株式会社ボラリス 様	50,000円

●ご芳名のみ

鹿島建物総合管理株式会社関西支社 様
ヤンマーエネルギーシステム株式会社 様

(匿名1法人)

役員・教職員等(1名)

●ご芳名・金額記載(1名)

森田 泰夫 様	50,000円
---------	---------

緑樹会・後援会・その他個人(79名)

●ご芳名・金額記載(26名)

有川 積 様	50,000円	高橋 康志 様	50,000円
飯田 美奈子 様	50,000円	田中 康胤 様	50,000円
梅原 秀高 様	250,000円	辻本 豊一 様	500,000円
梅原 美幸 様	500,000円	辻本 寿子 様	250,000円
大西 誠 様	50,000円	中岡 薫 様	10,000円
尾上 一郎 様	50,000円	中岡 幸子 様	50,000円
木村 靖子 様	50,000円	中田 明子 様	50,000円
梶谷 勉 様	50,000円	橋本 克己 様	50,000円
小松 健男 様	50,000円	橋本 千恵子 様	10,000円

●ご芳名のみ(16名)

阿部 智子 様	大堂 浩行 様
池田 信子 様	永見 直樹 様
石田 園治 様	中村 知子 様
石田 三子 様	中森 秀樹 様
小川 かおり 様	中森 成江 様
勝木 キミ子 様	中森 康江 様
勝木 義人 様	前川 巴子 様
小紫 格 様	丸尾 和代 様

(匿名37名)



■全体概要●物件名称/夙川StTerrace秀麗の丘●所在地/兵庫県西宮市高塚町27番1ほか●交通/阪急神戸線「夙川」駅下車徒歩11分●総区画数/72区画●用途地域/第一種低層住居専用地域●高度地区・風致地区/第1種高度地区・東六甲山地区(第3種)風致地区●地目/宅地●建ぺい率/40%●容積率100%●道路幅員/開発区域内約9m、約6m●開発区域外主要道路約15m●私道負担/無し●開発許可番号/第開-1-2号(29)(平成29年9月21日)●開発面積/40311.69㎡●造成完了時期/2019年9月下旬完了予定●お引渡し時期/2020年4月上旬予定●宅地面積/分譲住宅用地19984.39㎡/集合住宅用地10489.98㎡●設備概要/電気、都市ガス、公営水道、公共下水道●諸費用/登記費用、水道分担金口径20mm(1区画あたり)128,925円(税込)■第2期先着順概要●販売区画数/9区画●販売価格/64,699,000円~130,169,000円※1.対象不動産の取引は、造成工事完了後に確定測量を行い実測面積にて取引いたします。対象面積に差異が生じた場合は、一坪(約3.3㎡)当り単価にて清算いたしますので、売買面積及び売買金額の増減が生じる場合がございます。予めご了承ください。●販売土地面積/186,00㎡~338,21㎡●売主/ヤマイチエステート株式会社<国土交通大臣(1)第8520号、(公社)和歌山県宅地建物取引業協会会員、(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟>〒640-8392和歌山県和歌山市中之島1518中之島801ビル5階TEL:073-436-1010●販売提携(代理)/ユニホームエステート株式会社<国土交通大臣(7)第4043号、(一社)不動産協会、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟>〒541-0048大阪府大阪市中央区瓦町2丁目4番7号新瓦町ビル1階TEL:06-6204-0123●販売提携(代理)/アーバンライフ住宅販売株式会社<国土交通大臣(4)第5814号、(一社)不動産流通経営協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟>〒658-0015神戸市東灘区本山南町8丁目6番26号TEL:078-414-6211●販売提携(媒介)/三井不動産リアルティ株式会社<国土交通大臣(14)第777号、(一社)不動産流通経営協会会員、(一社)不動産協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟>〒530-0011大阪府北区大深町4番20号クラフフロント大阪タワーA棟14階TEL:06-6377-2161※当物件は建築協定(現在西宮市と協議中)及び緑地協定(現在西宮市と協議中)がございます。詳しくは係員にお尋ねください。※先着順につき、ご希望の区画が完約済みの場合もございます。予めご了承ください。※先着順申込受付場所/「夙川StTerrace秀麗の丘」販売センター※申込時にご持参いただくもの/印鑑(認印)、本人確認書類(運転免許証、パスポート等)直近2年分の源泉徴収票又は確定申告書の写し等の収入証明書類をご持参ください。(詳しくは係員にお問い合わせください)●取引条件有効期限/2018年11月末日※掲載の物件概要は2018年9月1日現在のものです。最新の情報はホームページ等でご確認ください。



第2期分譲開始 完全予約制 186.00㎡(約56.26坪)~338.21㎡(約102.30坪)

特急停車駅 阪急神戸線「夙川」駅より「梅田」駅へ16分(特急利用) 「神戸三宮」駅へ11分(特急利用)

「夙川 St Terrace 秀麗の丘」販売センター 営業時間:午前10時~午後6時(火曜日・水曜日 定休日)

ヤマイチ エステート 株式会社 0120-677-801 夙川セントテラス 検索

# 学校法人 兵庫医科大学

---

建学の精神

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

---

西宮キャンパス



## 兵庫医科大学 兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
☎0798-45-6111(代)  
<https://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)  
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)  
<https://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)

兵庫医科大学

## 健康医学クリニック

〒663-8137 兵庫県西宮市池開町3番24号  
☎0120-682-701  
<https://www.hyo-med-kenshin.com/>

神戸キャンパス



## 兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6  
☎078-304-3000(代)  
<https://www.huhs.ac.jp/>

篠山キャンパス



兵庫医科大学

## ささやま医療センター

兵庫医科大学

## ささやま老人保健施設

兵庫医科大学

## ささやま居宅サービスセンター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地  
☎079-552-1181(代)  
<https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

---